

平成 20 年度

予 算 算 定 調 書

〔 中央卸売市場事業会計  
食肉市場事業会計 〕

中 央 卸 売 市 場

平成20年度 局配分子算算定案

中央卸売市場

ア 総括表

(単位:百万円)

	20年度算定(A)		19年度当初(B)		(A) - (B)	
	歳出	税等	歳出	税等	歳出	税等
中央卸売市場事業会計	17,087	(△1,697) 3,745	15,975	(△3,885) 3,338	1,112	(2,188) 407
食肉市場事業会計	2,819	(0) 1,542	2,990	(0) 1,706	△ 171	(0) △ 164

上段( )書きについては、収支過不足額

※局裁量経費・非裁量経費合計額

		20年度算定(A)	配分額(B)	(A)-(B)
再掲	中央卸売市場事業会計	3,658	3,679	△ 21
	食肉市場事業会計	1,542	1,554	△ 12

配分を超過する理由

## イ 中央卸売市場予算編成方針

<p>目標像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食糧品の生産・流通・消費が安定的かつ効率的に行われ、健康で充実した食生活・食文化を享受できる社会の実現</li> </ul>	<p>使命</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民への安定的かつ安全・安心な生鮮食料品の供給を果たすとともに、適正な価格形成を図り、もって市民生活の安定に資すること</li> <li>出荷者・小売業者の大型化・寡占化に対応して消費者の利益を守るため多様な流通チャネルの確保に向け、流通の結節点としての機能・役割を果たすこと</li> <li>市場取引が生産、雇用、税収に及ぼす波及効果に鑑み、産業経済の基幹的施設として機能・役割を果たすこと</li> </ul>
--	---

<p><b>20 年度予算編成の考え方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多額の累積欠損金を有する中央卸売市場事業会計をはじめ、同様に非常に厳しい収支状況にある食肉市場事業会計の両会計ともに、「局経営方針」に沿って施設使用料の改定や人員見直し・委託の拡大等によって会計の健全化に努めながら、開場から 40 年が経過して老朽化し耐震性にも問題のある東部市場の再整備など将来に向けた必要な投資や、BSE 対策など衛生対策経費の確保など、メリハリのある算定を行った。</li> </ul>
---

現状認識	主な課題(改革課題)	対応策及び達成目標	20 年度主要事業(主な取組)
<p>経営課題 1 の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市場間競争の本格化（規制緩和を目的とする卸売市場法の改正に伴う卸売手数料の弾力化（平成 21 年度予定）等による）</li> </ul>	<p>経営課題 1</p> <p>【市場のあり方の検討】</p> <p>市場の将来を見据えた中長期計画（将来ビジョン）を策定する必要がある。また、ビジョンに適合した経営形態を検討する必要がある。</p>	<p>戦略 1-1</p> <p>【中長期計画（将来ビジョン）の実施】</p> <p>中長期計画（将来ビジョン）の実施。（達成目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中長期計画（将来ビジョン）の実施</li> </ul> <p>戦略 1-2</p> <p>【最適な経営形態の検討】</p> <p>将来ビジョンに適合した最適な経営形態の検討を進める。</p>	<p>取組 1 計画の実施に伴う調査</p> <p>取組 2 経営形態の検討</p> <p style="text-align: right;">} 5 百万円</p>
<p>経営課題 2 の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食の安全・安心への消費者の関心の高まり</li> <li>南港市場は B S E ゼロ継続</li> </ul>	<p>経営課題 2</p> <p>【食の安全・安心への取組】</p> <p>衛生対策などの取組を進める必要がある。</p>	<p>戦略 2-1</p> <p>【衛生対策の推進】</p> <p>青果・水産は衛生対策を継続し、食肉は B S E 対策等を実施する。（達成目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B S E 等衛生事故ゼロの継続</li> </ul>	<p>取組 3 BSE 対策</p> <p style="text-align: right;">90 百万円</p>
<p>経営課題 3・4 の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市場業者の経営は苦しくなっており、特に仲卸業者では多くの業者が赤字経営</li> <li>仲卸業者では多くの事業者の高齢化と従業員の採用難による後継者問題などから仲卸業者数が減少</li> <li>市場間競争の本格化（規制緩和を目的とする卸売市場法の改正に伴う卸売手数料の弾力化（平成 21 年度予定）等による）</li> <li>生産・小売業者の大型化・寡占化に伴う流通面や衛生面での市場機能の高度化要請への対応を通じた消費者ニーズに合致した食品の提供</li> <li>東部市場は昭和 39 年の開場後 40 年以上経過</li> </ul>	<p>経営課題 3</p> <p>【市場業者の競争力の向上】</p> <p>多様で活力ある市場内業者を育成・維持することにより、多種多様な流通チャネルを確保し、消費者の利益を守ることが必要。厳しい経営環境にある市場内業者の経営力向上と今後の市場を取り巻く環境の変化に即応できる競争力向上を図ることが必要である。</p> <p>経営課題 4</p> <p>【市場の競争力の向上】</p> <p>市場間競争の本格化に対応するため、流通面や衛生面での市場機能の高度化を図ることが必要である。</p>	<p>戦略 3-1</p> <p>【市場業者の競争力の向上】</p> <p>衛生対策の推進（戦略 3）や施設・設備の充実（戦略 6）に加え、財務基準の明確化による改善措置、市場業者の体力強化のサポートを行い、市場全体の活性化につなげていく方策について検討する。（達成目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市場業者の財務状況の改善</li> </ul> <p>戦略 3-2</p> <p>【規制緩和への対応】</p> <p>委託手数料弾力化に伴う具体策の実施（達成目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>21 年度実施</li> </ul> <p>戦略 4-1</p> <p>【施設・設備の充実】</p> <p>東部再整備事業等の市場機能向上に向けた整備を進める（達成目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>20 年度工事着手、23 年度竣工</li> </ul>	<p>取組 4 市場業者の体力強化への施策の実施</p> <p>取組 5 仲卸業者への経営相談・指導の実施</p> <p>取組 6 規制緩和策の実施</p> <p style="text-align: right;">} 2 百万円</p> <p>取組 7 東部市場再整備</p> <p style="text-align: right;">518 百万円</p>

## イ 中央卸売市場予算編成方針

現状認識	主な課題(改革課題)	対応策及び達成目標	20年度主要事業(主な取組)
<p>経営課題5の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市場間競争の本格化（規制緩和を目的とする卸売市場法の改正に伴う卸売手数料の弾力化（平成21年度予定）等による）</li> <li>将来収支は償うものの施設整備に伴う償却など固定費負担により短期的には厳しい収支状況</li> </ul>	<p>経営課題5</p> <p><b>【会計の健全化】</b></p> <p>これまで、人員の見直し等、人件費・物件費の経費削減とともに収入の確保に努めてきたが、引き続き市場会計の健全化を進めることにより、今後の市場間競争に打ち勝つ経営体力を強化する必要がある。</p>	<p>戦略5-1</p> <p><b>【施設使用料の増収】</b></p> <p>施設使用料改定による増収策を実施する（達成目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本場は、平成17～20年度に毎年度5%増収</li> </ul> <p>戦略5-2</p> <p><b>【人員見直し・委託の拡大による人件費の削減】</b></p> <p>業務委託推進等の業務効率化に引き続き取り組む（達成目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>17年度314名→22年度211名（103名削減）</li> </ul> <p>※全市的な要員調整状況で変動</p>	<p>取組8 施設使用料の改定 98百万円</p> <p>取組9 職員数の削減による経費削減 △35名</p> <p>取組10 業務委託の推進 247百万円</p>

## ウ 中央卸売市場 主要事業の概要

経営課題に対応する 20 年度の主要事業
----------------------

経営課題 1 市場のあり方の検討	5 百万円
1 中長期計画(将来ビジョン)の実施	
(1) 計画の実施に伴う調査	
19 年度に策定した実施計画を順次実施 (業績目標：実施計画の着手及び実施前の市場への影響の調査)	
2 最適な経営形態の検討	
(1) 経営形態の検討	
卸売手数料の弾力化等の流通環境の変化を十分見極めながら、経営形態の方向性を決定する。 (業績目標：20 年度中継続検討)	
経営課題 2 食の安全・安心への取組	90 百万円
1 衛生対策の推進	
(1) BSE 対策	
牛の特定部位の除去並びに焼却廃棄処分等、BSE 対策の実施 (業績目標：20 年度 BSE ゼロの継続)	
経営課題 3 市場業者の競争力の向上	2 百万円
1 市場業者の競争力の向上	
(1) 市場業者の体力強化への施策の実施	
19 年度に検討した市場業者の体力強化への施策の実施 (業績目標：20 年度中に施策の実施)	
(2) 仲卸業者への経営相談・指導の実施	
(業績目標：新たに財務基準に抵触する業者を対象とした検査・指導の実施)	
2 規制緩和への対応	
(1) 規制緩和策の実施	
他市場との意見交換や委託手数料弾力化への具体策の把握・調査を実施し、本市の規制緩和策を実施 (業績目標：21 年度実施に向け、20 年度中に条例改正)	
経営課題 4 市場の競争力の向上	518 百万円
1 施設・設備の充実	
(1) 東部市場再整備	
東部市場再整備の工事を実施 (業績目標：20 年度契約締結し、工事着手)	

経営課題5 会計の健全化

1 施設使用料の増収

98 百万円

(1) 施設使用料の改定

本場について、施設使用料を5%改定し、増収を図る。

(業績目標：20年4月に施設使用料5%改定)

2 人員見直し・委託の拡大による人件費の削減

(1) 職員数の削減による経費削減

△35名

〔中央卸売市場事業会計20名、食肉市場事業会計15名〕

※19年度実施済み2名を含む

業務の効率化による職員削減等

(業績目標：19年4月に33名削減)

(2) 業務委託の推進

247 百万円

中央監視業務、汚水焼却運転管理業務を委託する。

(業績目標：20年4月委託開始)